

横浜鳳雛塾開講のお知らせ

2008年度、鳳雛塾では、以下の通り塾生を募集します。

横浜鳳雛塾では、SFCと地域との交流をベースに、欧米のビジネス・スクールで活用されるケースメソッドを取り入れ、自分で考え自分で行動できる能力を育成するとともに、遠隔授業、講師を交えての交流会を通じて、志を同じくする方々の強い紐帯のネットワークの構築を目指します。

起業（ベンチャー、NPO）に関心のある方、新規事業の立ち上げに取り組む方、幹部候補生のための組織運営や意思決定トレーニング、リスクマネジメントなど実践的なマネジメントを学びたい方など、意欲ある方々をお待ちしております。

1. スケジュール（開始時刻が変更になる場合がございます。）

第1部（実践的マネジメント基礎）		第2部（実践的マネジメント総合）	
第1回	10月16日（木）19:30～21:30	第5回	12月11日（木）19:30～21:30
第2回	10月30日（木）19:30～21:30	第6回	12月22日（月）19:30～21:30
第3回	11月13日（木）19:30～21:30	第7回	1月15日（木）19:30～21:30
第4回	11月27日（木）19:30～21:30	第8回	1月19日（月）19:30～21:30

2. 受講料（教材費を含む）

第1部（実践的マネジメント基礎：第1回～第4回） 2万円

第2部（実践的マネジメント総合：第5回～第8回） 2万円

※事前にお振込みいただきます。請求書等必要な方はご相談ください。

（領収書は初回講義の際にお渡しいたします。）

3. お問い合わせと参加申し込み

主催：横浜鳳雛塾運営委員会（慶應義塾大学飯盛義徳研究室内）

事務局：(株)MMインキュベーションパートナーズ 担当：柏

電話：0466-48-5872

URL：<http://www.mmip.co.jp/>

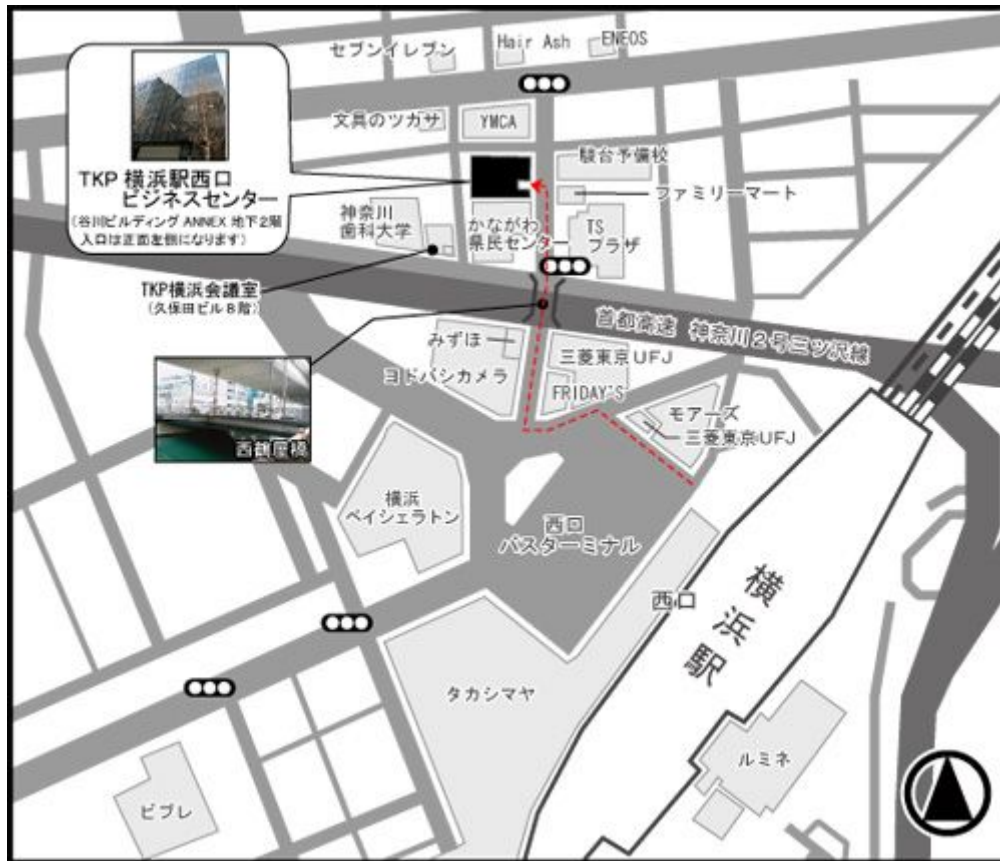
参加を希望される方は、ご所属、お名前、ご連絡先メールアドレスを記載の上、mmip-info@mmip.co.jp までメールでお申し込みください。

申し込み締め切り 10月10日（金） 17:00まで

4. 会場

TKP横浜駅西口ビジネスセンター カンファレンスルーム2

<http://tkpyokohama.net/access/index.html>



鳳雛塾とは？

鳳雛とは鳳凰の雛、つまり未来の英雄という意味です。

鳳雛塾は、1999年、佐賀市に設立された起業家育成スクールです。授業では、大学や研究所などのビジネス・スクールで活用されているケースメソッドを導入していますが、これまでのケースメソッドは大企業の事例が多く、起業家やベンチャー企業にとってはあまり役立たないものでした。鳳雛塾では、身近な事例を取り上げ、起業家、ベンチャー企業経営者、新事業担当者が理解しやすく、実践に役立つ手法を用いています。

この活動が各方面から高く評価され、2003年には日本経済新聞社主催、「日経地域情報化大賞」の日本経済新聞社賞を受賞しました。

<総合監修・担当講師>

■ 総合監修：飯盛義徳

慶應義塾大学総合政策学部准教授兼政策・メディア研究科委員

経歴 昭和 62 年 上智大学文学部教育学科卒業、同年松下電器産業株式会社勤務

平成 6 年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了（MBA）

平成 14 年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。

平成 18 年 同 研究科博士号取得（経営学博士）。

平成 20 年 4 月より 現職

専攻 経営戦略論、経営組織論、起業家精神育成のための教育方法研究、情報技術を活用した地域経済活性化に関する研究

■ プログラム設計・担当講師： 横瀬 勉

慶應義塾大学 SFC 研究所上席研究員（訪問）・国際大学大学院非常勤講師

経歴 昭和 58 年慶應義塾大学経済学部卒業（労働経済学専攻）

昭和 58 年～平成 6 年 東急電鉄株式会社勤務（人事部・リゾート事業部・海外事業部等）

平成 6 年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了（MBA）

平成 9 年～平成 15 年 グロービスマネジメントスクール講師

平成 10 年 日本 BT(British Telecom)株式会社 人事総務部長

平成 15 年 ワイス株式会社執行役員人事部長

平成 19 年より現職

専攻 組織行動学 人的資源管理 交渉術

ビジネス・スクールにおけるケースメソッドとは？

ビジネス・スクールにおけるケースメソッドは、経営の実践力を養うために 1930 年代にハーバードビジネススクールで開発された手法で、日本では慶應義塾大学ビジネス・スクールが約 30 年前から取り入れています。具体的な状況と経営課題が書かれている「ケース」を使い、課題の分析や対応策の検討、実行案や代替案の提案を各自が考え、議論するなかで、「思考力」や「意思決定力」や「戦略立案力」などを鍛えます。

<各回の内容>

第一部（実践的マネジメント基礎）

第一回 10月16日（木）：オリエンテーション、討議の進め方を説明しながらの講義

ケース「ネット社会と企業経営」 テーマ「マネジメント」

たった1通のメールが及ぼした驚愕的な影響の事例（佐賀銀行メール風評被害）の事例を紹介し、騒動の要因を分析し、情報社会における企業経営の要諦について議論する。

第二回 10月30日（木）：ケース「きりしまフラワー」 テーマ「マーケティング」

「一坪ショップのきりしまフラワー」に代表されるユニークな営業戦略で生花業界の改革者として注目を集めるきりしまフラワーの成長分析とその展開方法について考える。

第三回 11月13日（木）：ケース「鴨池システム」 テーマ「組織マネジメント」

大企業の戦略子会社のマネジメントの事例を通して、問題点を検討し、組織設計、人的資源管理の具体的方策について議論する。

第四回 11月27日（木）：

ケース「ライフコンプリート」 テーマ「ミッションマネジメント」

様々な問題が指摘されている介護・福祉分野で成長を続けるライフコンプリートの経営理念（ミッション）の実践と事業拡大の関係性について考える。

第二部（実践的マネジメント総合）

第五回 12月11日（木）：ケース「ラクーン」 テーマ「ビジネスモデルの構築」

在庫を抱え倒産の危機に直面した社長が導き出した世界唯一無二のビジネスモデルとは何か。「ビジネスモデルは成功しても常に変えていくべきもの」という信念のもと進化続ける「ビジネスモデル」はどのように構築されているのか。

第六回 12月22日（月）：ケース「秋川牧園」 テーマ「組織と成長戦略」

（株）秋川牧園は、1972年に養鶏業からスタート。株主でもある生産農家と本社がそれぞれ得意な分野を担当するネットワーク型組織を形成して成長、1997年には酪農・養鶏・農業分野では日本発の店頭上場を果たした。成長戦略について考える。

第七回 1月15日（木）：ケース「パタゴニア」 テーマ「経営戦略」

地球環境の破壊者たる「ビジネス」と「地球を守ること」は両立させ得るのか。その一つの答えをパタゴニアは示している。「社員をサーフィンに行かせよう」この一言に込められた経営理念と、収益確保と環境保護を両立させ成長し続ける経営手法について考える。

第八回 1月19日（月）：ケース「三技協」 テーマ「経営最適化戦略」

赤字体質脱却のため自社で培ったノウハウをオプティマイゼーション経営として体系化し、6年で利益35倍を達成。三技協の経営最適化戦略について考える。

<学習の仕方>

上記の目的を達成するために本セミナーでは討議するということを最も重視しています。特にクラスでは、ケースに述べられている点やクラスで議論される点について自分の判断を述べ、行動のとり方を主張することを常に心がけて下さい。他の参加者の発言を聞き、理解するだけの出席では自らの実践力を高めるためのトレーニングとしては不十分です。自分の意見を頭の中で形成し、それを外に出して他のメンバーに主張するというアクションをより多くとることで、各々の力が醸成されるように設計されています。

このような学習方法は、多くの方には不慣れで苦痛を伴うかもしれませんが、自分の考え方を整理し、他の人との相互作用の中から新しいものを創るやり方を知るかけがえのない機会にもなります。

そしてクラスの中で十分に発言するためには、事前学習における準備が大変重要となります。事前に十分に内容を理解し、自分の考え方や意思決定をよくまとめておいて下さい。事前学習における思考プロセスが、本セミナーの重要なポイントになります。

1. 事前学習 (1回 約2~3時間程度)

- ① まず事前に配布されたケース（小冊子になった教材）を読んで頂き、概要を把握して頂きます。
- ② 次にケースの主人公の立場に立ち、事実関係を把握し、問題点やそこに至った経緯を分析し、自分なりの対応策（判断と行動提案）を考えて頂きます。
- ③ 並行しながら、ケースと一緒に配布された設問に答えて頂きます。

2. 当日の学習 (1回 2時間)

- ① グループディスカッション (約30分)
まず5~7名のグループに分かれて頂き、ケースの内容について確認や、問題点の議論などを行なって頂きます。
- ② クラスディスカッション (約1時間10分)
全員が集合し、講師のリードに沿って、ケースの内容についての議論や解決策、意思決定などについての議論を行なって頂きます。
- ③ まとめ (約10分)
毎回のケースの背景やそこから導き出される知見・理論などを簡単に説明します。